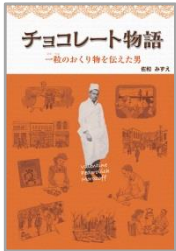


チョコレート

チョコレートを目にする機会が多い2月。
今日は、チョコレートにまつわる本を紹介します。



児童書

『チョコレート物語』
一粒のおくり物を伝えた男』
佐和みずえ/著 くもん出版

宝石細工のようなチョコレートをつくり、その技術を日本の職人に伝えたロシア人モロゾフ一家。ロシア革命から逃れるため、中国、アメリカ、そして日本に移住し、神戸に店を構えます。モロゾフ一家が、困難に立ち向かいながらチョコレートを作り続ける物語です。



一般書

『チョコレートの手引』
蕪木祐介/著 雷鳥社

明治十一年の新聞で「貯古齡糖」と記されていたチョコレート。みなさんはどのくらいチョコレートのことを知っていますか。チョコレート技師の著者が「カカオとチョコレートについての基礎知識から一歩踏み込んだ専門知識まで」手引きします。最終章ではチョコレートの楽しみ方を教えてください。



一般書

『シヨクラティエ』
藤野恵美/著 光文社

9歳の聖太郎は、クラスメイトの大宮製菓御曹司・光弘の誕生会で“チョコレート”の泉に出会い、魅了されます。誕生会以降、2人は意気投合しお菓子作りに夢中になります。しかし、光弘の幼馴染・凜々花と出会ったことで、聖太郎は自分と光弘の置かれた環境を意識し、疎遠になってしまいます。



一般書

『うっとり、チョコレート』
杉田淳子、武藤正人/編
河出書房新社

チョコレートやバレンタインをテーマとしたエッセイ集です。浅田次郎、川上未映子、村上春樹、ソムリエの田崎眞也など 38 人の作品を楽しむことができます。



新型コロナウイルス感染症拡大予防のためご理解とご協力をお願いいたします



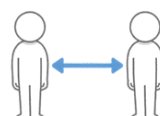
発熱や咳など体調不良がある場合は
来館をご遠慮ください



入館時に手指消毒をお願いいたします



マスクを着用してご来館ください



人と人との間隔を最低 1m 空けるよう
ご協力ください



滞在時間は 1 時間 以内 お願い します